

米国株式型特別勘定 運用状況 (2010年1月末現在)

運用方針

- 主に米国企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 原則として、為替ヘッジは行いません。
- S & P500指数を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	7,961,581	98.5%
現預金・その他	117,319	1.5%
合計	8,078,900	100.0%

運用状況

2010年1月の米国株式市場はMSCI US(現地通貨ベース)で3.51%の下落となりました。良好な企業決算などを背景に月前半は堅調に推移しました。しかし、オバマ大統領が新たな金融規制案を発表すると、経済成長を抑制するとの懸念が広がるなどして、下落しました。このような市場環境の中、円高ドル安が進行したこともあり、当特別勘定は5.86%下落しました。

当特別勘定では、マルチ・マネージャー型の投資信託を中心とした運用を行っています。

1月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

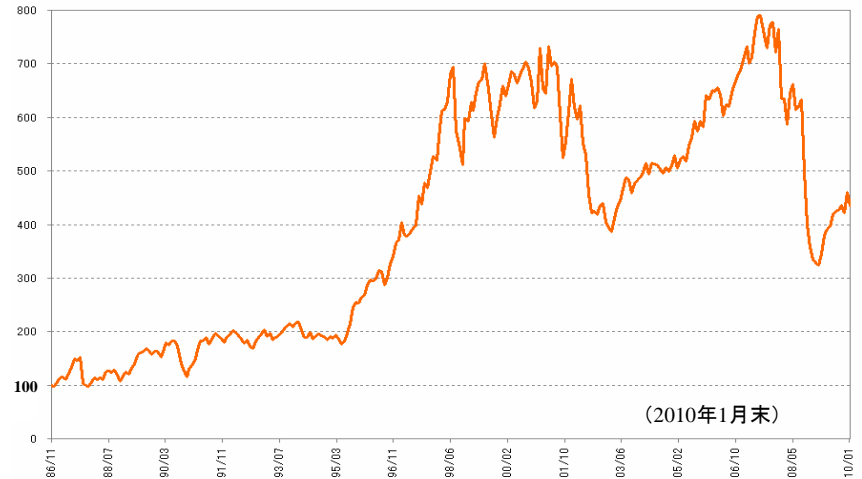
2月についても、マルチ・マネージャー型の「RIC US Equity Fund」を中心とした投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
433.91839750	▲5.86%	▲0.35%	+3.53%	+31.96%	▲40.75%	▲14.10%	+333.92%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(1986年12月1日)を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:1986年12月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]



(注)「p17下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。